

地域おこし
協力隊だより

第10回

みやざわ ゆうき
宮澤 優輝



下妻市のみなさま、こんにちは。前回の寄稿から早3ヶ月が経過し、下妻市の魅力に触れる機会がさらに多くなりました。

私は「サヌマー」にて、下妻市の皆様に取材をさせていただいております。お話を伺いしていくなかで「下妻のイメージ」についても伺いするのですが、ある共通点が見えてきました。それは「ゆったり」という言葉です。他の地域と比べて時間の流れがゆったりしている、せかせかせかない、といった感覚をお持ちの方が非常に多いのです。私自身も下妻に越してきて半年ほど経過しますが、時が流れるスピードの違いを肌で感じております。これは下妻の歴史や風土が生み出した独自の地域性であり、行政や企業がどれだけ頑張っても、どれだけ技術が進んでも作ることが叶わないものです。こういった特徴も下妻の良さとして、より多くの方に伝えられたらと思います。そして、取材を進めていく中でまた新しい発見ができそうだなと、今からワクワクしております。

サヌマー

下妻市に縁のある「砂沼(=下妻)な人々=サヌマー」を深掘りする、下妻市まちメディア。

※サヌマーでは取り上げて欲しいお店や人物を募集しています！ぜひご一報ください。

Instagramアカウント
<https://www.instagram.com/sanumer.shimotsuma>



サヌマータイムス

下妻市での暮らしに関わる様々な情報や、タイムリーな話題をお届けします！

Twitterアカウント
<https://twitter.com/SanumaTimes>



問 都市整備課 ☎45-8128 FAX 43-2945

まちづくり 問 都市整備課 ☎45-8128 FAX 43-2945

下妻デザインミーティング 2021 vol.3
を開催

昨年7月と10月に引き続き、今年度3回目の「SHI MOTSUMA DESIGN MEETING」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催となり、68人が参加しました。このイベントでは、現在下妻市に足りないものは何かを掘り下げ、構想に描いた下妻ライフを実現する事業へと結びつけるため、参加者が考察を重ねてきました。今回のvol.3のテーマは「欲しい暮らしと街の未来は自分たちの手で創る」と題し、岡山県で民間主導のまちづくり事業を実施している打谷直樹氏を講師に招き、民間の立場から考えるまちづくりについて講演していただきました。参加者からは「公共空間で行う社会実験はどういったもので、収益は考えていたのか」や「社会実験から実事業へ変換の際の注意点は」などの質問が出されていました。

また、市民などによるそれぞれの活動紹介やトークセッションも行われ、まちづくりについての考えを深めました。



オンラインで講演する打谷氏(右)

スポーツ
& カルチャー フラッシュ
がんばる
小・中学生!!

小学生

■第45回龍ヶ崎市民スポーツフェスティバル
小学生バレーボール交流大会(1月9日)

<バレーボール>

スマイルキッズスポーツ少年団 優勝

■令和3年度桜川市・筑西市

スポーツ少年団ブロック交流大会(1月16日)

<バレーボール>

スマイルキッズスポーツ少年団 優勝

地域活性化 問 市民協働課 ☎43-2114 FAX 43-1960

宝くじ助成事業でコミュニティ活動を
推進

原北自治会

原北自治会では、宝くじの助成を受けて、公民館備品やお囃子用楽器の整備を行いました。また、今回の備品の整備のほか、今後は公民館自体の改修も予定しており、だれでも使いやすく集いやすい公民館づくりを行っていきます。代表の菊池光雄さんは「新しく買った備品により、会議に参加しやすくなりました。また、諏訪神楽囃子保存会も練習を重ね伝統を後世に伝えていくことができ、自治会のみんなと喜んでいきます」と話していました。

この助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な施設や備品の整備を行うものです。原北自治会では、公民館を中心にした活動を通じて、地域の繋がりや地域住民のコミュニティの更なる発展と充実が期待されます。



整備した附締太鼓

男女協働参画 問 市民協働課 ☎43-2114 FAX 43-1960

紹介します「料理男子のとおきおきメニュー」

男性の家事・育児への参加を促すことを目的に、パパといっしょにクッキング「料理男子のとおきおきメニュー～パパとおとう飯にトライ!～」を開催し、小中学生親子5組が参加しました。参加した「しゅうさんの父」は、地元で収穫した白菜とキャベツを使った焼き餃子を紹介し「野菜が得意でない息子も自分で作るとたくさん食べる」と、また、「みずきさん」は父と作ったマーボー豆腐に「少し辛かったけどおいしくできた」と感想を話していました。

■しゅうさん親子のおとう飯



■みずきさん親子のおとう飯



おとう飯紹介ページQRコード

環境 問 生活環境課 ☎43-8289 FAX 44-7833

ごみ袋からCO2削減～SDGsへの取り組み～

本市の指定ごみ袋には、令和3年度から「環境配慮型素材」を使っています。環境配慮型素材とは、原料の一部に植物由来原料(バイオマス原料)を使用することや、特殊な技術などにより、石油由来原料の使用量を少なくした素材です。

本市のごみ袋は、少ない石油由来原料でこれまでと同等の丈夫さを持つ薄肉強化素材を使用することで、石油由来原料の使用量を少なくしたものです。このごみ袋は、従来の厚さ0.03mmから0.02mmとし、引張強度は従来品を下回らない強度のものです(第三者機関で測定)。また、薄くなったことで体積や重量が大きく減少したことから、輸送に伴う環境コストの軽減も期待できます。身近なごみ袋から、二酸化炭素排出量削減と持続可能な社会づくりを考えてみませんか。

※従来品よりも強く伸びにくい素材ですので、無理やり伸ばそうとすると破けることがあります(従来品も同じ力を加えれば破けます)。ごみ袋は、詰め放題の袋ではありません。無理のないごみの排出をお願いします。



左：従来品
右：現行品(軽くなっています)